

元石川小学校第二方面校 開校準備委員会ニュース

第3号 平成21年10月13日

第3回開校準備委員会 開催

- 日時 平成21年9月15日(火)午前10時から
- 場所 元石川小学校図書室

◇第3回開校準備委員会での検討事項/決定事項◇

- 1 第二方面校の通学区域の決定について
→ **前回委員会の候補案を、第二方面校の通学区域とすることを決定しました。**
- 2 学校名の選定について
→ アンケートの集計結果を参考に議論し、学校名を「**美しが丘西小学校**」とすることに決定しました。
- 3 中学校の通学区域案について
→ 事務局から2つの案を提示しました。中学校の通学区域については**次回委員会で検討を行うこととなりました。**
- 4 開校準備委員会に寄せられたご意見・ご要望について
→ 皆様から寄せられた意見等について、委員会で報告しました。

1 第二方面校の通学区域の決定について

委員長から、第二方面校の通学区域について、委員の皆様意思確認を行った結果、満場一致で下記の案（第2回委員会での候補案）を通学区域とすることに決定しました。

元石川小学校第二方面校の通学区域

※ 新設校の学校規模の推計値はニュース第2号2ページ「案1」に同じ。

【通学区域：図中イ】

美しが丘西一丁目～二丁目全域、美しが丘西三丁目1番地～11番地・43番地・45～54番地・57～59番地・61～65番地、元石川町7138番地～7244番地、元石川町7247番地～7267番地、元石川町7269番地、元石川町7272番地～7308番地、元石川町7310番地、元石川町7315番地～7441番地、元石川町7512番地～7513番地(美しが丘西保木自治会区域)

【特別調整通学区域(※)：図中ロ(新設校が受入校)】

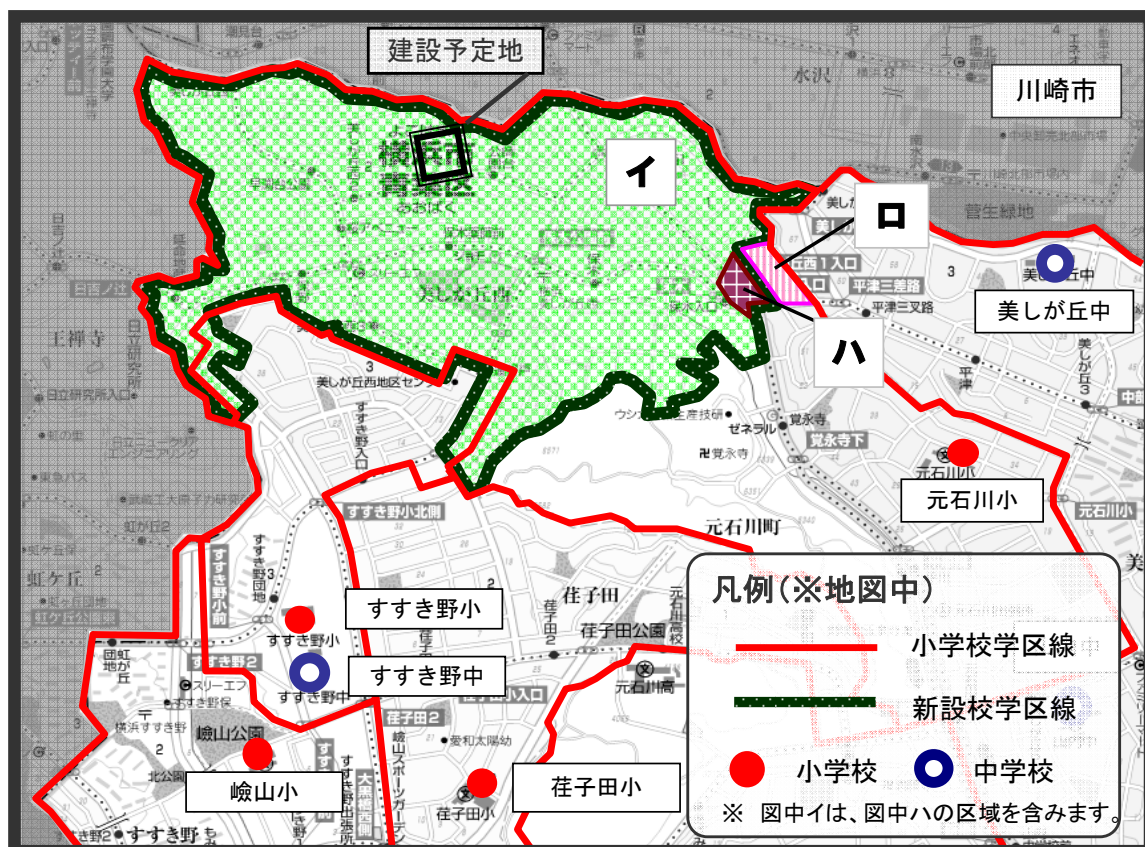
元石川町7510番地～7511番地(元石川町愛郷自治会区域)

【特別調整通学区域(※)：図中ハ(元石川小学校が受入校)】

元石川町7327番地、7337番地～7338番地、7512番地～7513番地(美しが丘西保木自治会区域)

新設校周辺通学区域図

※ 自治会範囲を精査し、元石川町のうち美しが丘西保木自治会区域の地図を改めました。



※ 就学先の学校の選択肢が増える制度で、設定区域内の保護者は、指定校と受入校のいずれかを希望により選択できる制度です。

2 学校名の選定について

学校名アンケート集計結果

～多数のご応募ありがとうございました

※ 得票順に掲載しています。

名前	読み	票数	主な理由
美しが丘西	うつくしがおかにし	144	<ul style="list-style-type: none"> この綺麗な名称はこの地に作られる学校にふさわしい。 既設の美しが丘小学校、美しが丘東小学校との区別が明瞭。 学校の所在地の地名で、わかりやすいから。 愛着があるから。
保木	ほぎ	22	地域の名前として根付いているから。
薬師台	やくしだい	15	新設校の近隣に薬師如来があるから。
西	にし	7	美しが丘西の西だから。
美しが丘第一	うつくしがおかだいいち	5	<ul style="list-style-type: none"> 美しが丘西にあるから。 1の数字が好きだから。
青葉	あおば	3	あおばの近くだし、青葉区の学校だから。
さくら	さくら	3	きれいな学校になって欲しいから。
なかよし	なかよし	3	みんなが仲良しで勉強できるように。
その他の案 (選定対象内)			<p>(2票): 青葉西、美しが丘西第一、キラキラ、元気、自然、新型、新元石川、せきはら、チャレンジ、ニコニコ、西川、ほぎかわ、横浜西</p> <p>(1票): 青葉の丘、天川西、あまの川、いっぱいあつまる、うつくしがおかだい、うつくしがおか大すき、美しが丘第二、うつくしがおかだい4、美しが丘西丘の上、美しの里、エヌアール、おおきい、おてら、おはな、思いで、川のはら、がんあんせつ、きがっぱい、キラメキ、くさばな、くちば、グランド、けやき、元気もりもり、コスモス、さくらぶし、じゅらしくばあく、しんぎょう、森林、せんごく、たかの羽、台二、楽しい、たまプラーザ、つる、入学、ハートのケーキうつくしがおか、はやぶち、はやぶちだい、はらば、春田、ひがし、美西クローバー、ひまわり、ふじさん、べんきょうがくて、ほぎかいわ、ほぎけんりつ、ほし、みんな、みんななかよし、元石川第二、元土がおか、横浜丘のうえ、よこはまこくさいしりつ、よこはまだい一、よこはま大2、横はま市だい一、よこはまひがし、よもぎ野</p>
その他の案 (選定対象外)			<p>○市内の他の学校名と同一、他の地名等と誤解されやすい等の理由から選定の対象外となりました。</p> <p>(5票): 美しが丘、(2票): あさひ、神奈川、(1票): かきお、かわい、あざみ野、あざみ野西、石川、美しが丘東、すすき野、東京、みやざき、もみのきだい、横須賀</p>
<p>合計308票(全95種類)の応募をいただきました。(※内訳: 地域から54票、小学校の児童から254票)</p>			

委員会での主なご意見・ご質問等

※ ☆印は、各委員からの発言。

- ☆ アンケートの結果では、「美しが丘西」が最も多いですが、自治会の名前が美しが丘西保木自治会であり、昔からこの地域においては、「保木」という名前が強いイメージを持っているので、この名前を残してもらいたいと思います。
- ☆ この地域には3つ「保木」という名前がついている信号機があります。信号機の下にローマ字でふりがながありますが、「ほぎ」と書かれています。古くから住んでいる方から言わせれば、「ほーぎ」が従来からの呼称なのですが、今は「ほぎ」という読み方が一般的になっています。
- ☆ 私は引っ越してきたため、最近まで「保木」という地域に住んでいるという実感を持っていませんでした。転入してきた人の多くが私と同じ考え方だと思います。「美しが丘西」はすでに認識されている名前なので、多くの案が寄せられましたが、新しい住人は「保木」という名前を認識していないと思います。「保木」という名前をつけることで、新設校に入学する子ども達や保護者に「何故、保木小学校なのか」ということを考えてもらうことも大切なことだと思います。
- ☆ 昭和30年代後半から大規模開発が行われた結果、この地域だけではなく、由緒ある名前が改変され、同時に、言葉の響きが良い名前が流行していききました。ある地名学者は、「地名は祖先が次世代に残す文化遺産」であり、由緒ある名前をむやみに変えるべきではないという見解を示しています。地域の先輩方が「保木」という名前を残そうと努力した結果、今も信号機等随所にその名前が残っています。検討の参考にさせていただきたいと思います。
- ☆ 新石川小学校ができた際には、古い地名を小学校の名前に入れませんでした。しかし、自治会名に「新石川下谷」等の昔の地名が残っています。学校名は地名とした方が子どもたちにも理解しやすいのではないのでしょうか。
- ☆ 確かに、古い名前を残していくことも大切ですが、何かの節目で地名が変わっていくこともまた、歴史の一部でありやむをえないと思います。
- ☆ 私も歴史や文化は日々変化していくというのが現実だと思います。保木という名前を残したいという意見もありますが、「美しが丘西」という案が144件も寄せられているということをきちんと考慮して検討しなければ、アンケートをとったことの意味が薄れてしまいます。
- ☆ 事務局としては、「美しが丘西保木」小学校は名前として長すぎると考えていますか。
→ 「美しが丘西保木」という案が出てきていないだけで、長すぎるから案として採用しないということではありません。(事務局)
- ☆ 子ども達にとって書きやすく、読みやすいという点も考慮すると、「美しが丘西」小学校が良いと思います。また、「美しが丘西保木」とするのも良いと思いますが、今の子ども達は何でも名前を短縮して呼びますので、どちらかにはっきりさせた方が良いと思います。

- ☆ 当初アンケートを実施する際に、アンケートの結果はあくまで参考とし、必ずしも数が多いものを採用するということではないということでした。但し、308件の応募をいただいたなかで、「美しが丘西」という名前が全体の46%を占めているということは事実ですので、一般の方にもきちんと説明し、理解してもらえるように慎重に検討する必要があると思います。
- ☆ 私も何でも新しいものにすれば良いとは思いませんが、今回については票数に圧倒的な差があり、それは無視できないと思います。「保木」という名前については、交差点・公園等に残っているので、小学校名については、「美しが丘西」にすることが良いと思います。
- 但し、委員会として、このような理由で決定したという付帯事項として掲載すれば良いと思います。
- 正副委員長に確認し、付帯事項を意見書に掲載します。(事務局)

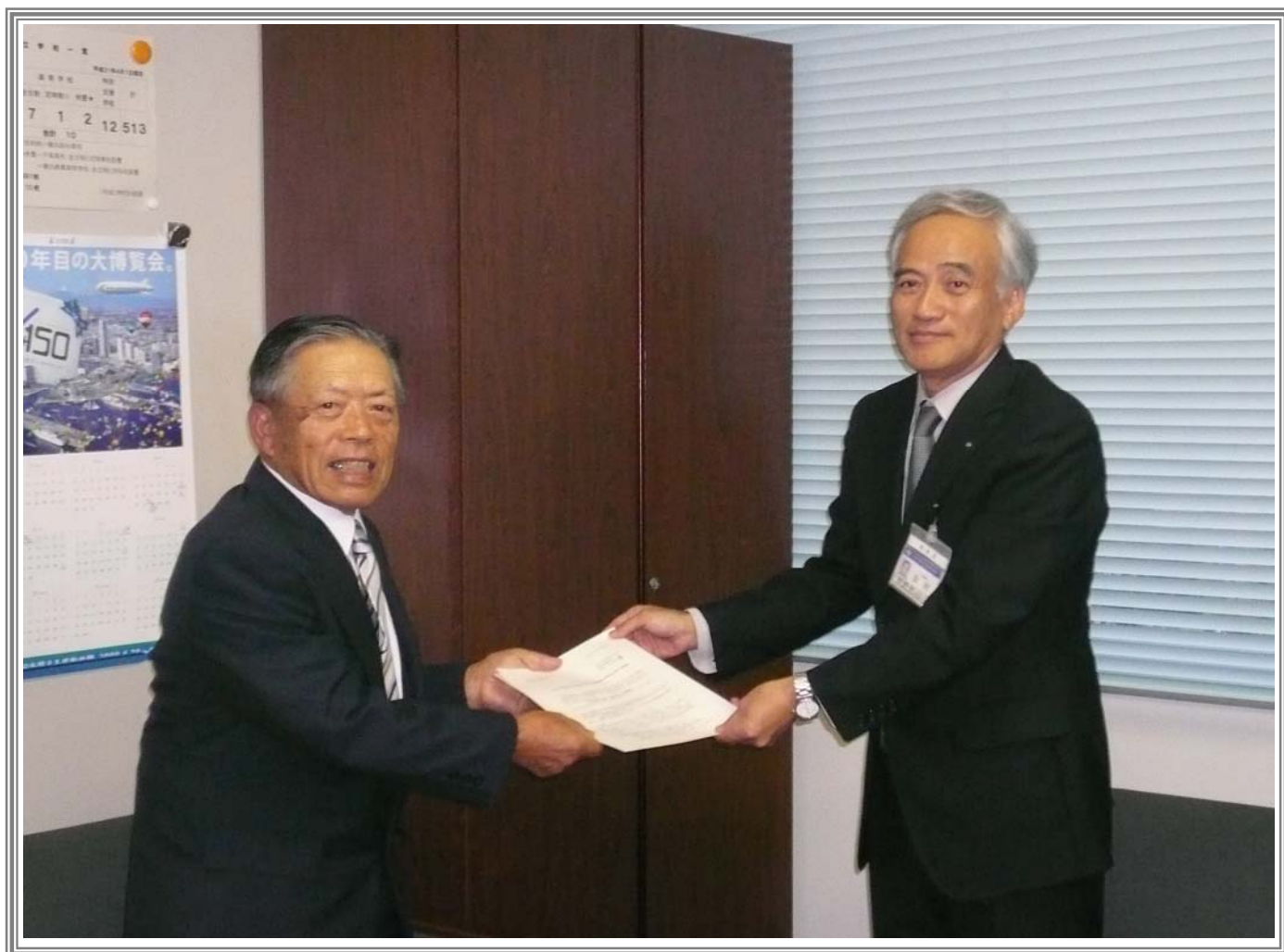
議論の結果、

**委員長から、委員の皆様拍手による意思確認を行った結果、
満場一致で第二方面校の学校名を
「美しが丘西小学校」とすることとなりました。**

第二方面校の通学区域及び学校名に関する意見書の提出について

平成21年10月5日付で、関戸委員長から横浜市教育長宛に下記のとおり意見書を提出しました。

提出の様子



左から：関戸輝夫委員長、田村幸久教育長

※ 意見書は裏面に掲載

平成21年10月5日

横浜市教育委員会
教育長 田村幸久様

元石川小学校第二方面校
開校準備委員会
委員長 関戸 輝夫

元石川小学校第二方面校新設に伴う通学区域及び学校名に関する意見書

1 はじめに

当開校準備委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、元石川小学校第二方面校（以下「新設校」という。）の設置に当たって、次の項目を検討するため、本年6月に設置されました。

「通学区域、学校名、通学安全、学校施設」

このうち、まず通学区域及び学校名に関する案を取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

2 新設校の整備目的及び通学区域設定に当たっての基本的考え方

新設校の整備目的は、元石川小学校の通学距離及び通学区域の適正化、並びに仮設校舎の解消による教育環境の改善にあります。

よって、この整備目的を最優先に考慮した上で、元石川小学校の通学区域の分割を前提とし、新設校の通学区域を設定しました。

3 通学区域

新設校の通学区域は次のとおりとします。【ニュース1ページ図中：イ】

美しが丘西一丁目～二丁目全域、美しが丘西三丁目1番地～11番地・43番地・45～54番地・57～59番地・61～65番地、元石川町7138番地～7244番地、元石川町7247番地～7267番地、元石川町7269番地、元石川町7272番地～7308番地、元石川町7310番地、元石川町7315番地～7441番地、元石川町7512番地～7513番地（美しが丘西保木自治会区域）

4 特別調整通学区域の設定について

新設校の特別調整通学区域は次のとおりとします。

- (1) 指定校：元石川小学校、受入校：新設校【ニュース1ページ図中：ロ】
元石川町7510番地～7511番地（元石川町愛郷自治会区域）
- (2) 指定校：新設校、受入校：元石川小学校【ニュース1ページ図中：ハ】
元石川町7327番地、7337番地～7338番地、7512番地～7513番地
（美しが丘西保木自治会区域）

5 設定時期及び対象とする児童

設定時期は、元石川小学校第二方面校開校の平成25年4月とし、新設校の児童は、元石川小学校の通学距離及び通学区域の適正化並びに新設校の円滑な学校運営を図るため、原則として、新設校の通学区域内の小学校1年生から6年生までの児童とします。

6 学校名

学校名案を公募し、公募の結果を参考に検討した結果、新設校の学校名は次のとおりとします。

案「美しが丘西小学校」

付帯事項：

新設校の学校名については、この地域に古くから伝わっている地名の「保木」を学校名として残し、子どもたちに親んでもらうとともに、将来に伝えていきたいという意見もありましたが、今回地域の方や子どもたちに参加してもらったアンケートの集計結果を尊重し、最終的には「美しが丘西」案を開校準備委員会で採用することとなりました。

3 中学校の通学区域案について

中学校の通学区域の基本的考え方

- 変更時期は、新設校開校の平成25年度4月とし、平成25年の新中学1年生からの適応とする。
- 地域と学校の連携を考慮し、自治会区域及び町丁名区域を基本単位として通学区域を検討する。
- 通学区域変更後、各中学校の普通教室が不足しないことを前提とする。
- 第2回委員会の候補案(案5)が新設小学校の通学区域となった場合の推計値を掲載。

関係中学校の義務教育人口推計（現状）

山内中学校	H21	H22	H23	H24	H25	H26	保有普通教室
生徒数	657	648	647	635	647	642	23
学級数	18	18	18	18	18	18	
すすき野中学校	H21	H22	H23	H24	H25	H26	保有普通教室
生徒数	367	346	364	358	372	382	15
学級数	11	10	12	11	11	11	
美しが丘中学校	H21	H22	H23	H24	H25	H26	保有普通教室
生徒数	243	241	273	282	292	292	11※ (注釈参照)
学級数	8	7	8	8	9	9	

※ 仮に、新設校の通学区域全域を山内中学校の通学区域とした場合も、山内中学校及びすすき野中学校の推計は現状とほぼ変わらない見込み。
※ 美しが丘中学校の保有普通教室数は、平成22年4月以降は12学級となる予定。

小学校線と中学校線の不一致の解消について

下記2箇所については、新設校の開校にともない、次のとおり小中の通学区域線が一致するように整理します。

●現在の段階で小学校と中学校の通学区域線が一致していない区域(図中イ)

「美しが丘西三丁目55番地及び56番地」

小学校:すすき野小学校、中学校:山内中学校 → 小学校:すすき野小学校、中学校:すすき野中学校

●新設校開校後小学校と中学校の通学区域線が一致なくなる区域(図中ロ)

「美しが丘西三丁目10～11番地、43番地、45番地」

小学校:新設校、中学校:すすき野中学校 → 小学校:新設校、中学校:山内中学校

新設校中学校通学区域案

案1 【山内中学校通学区域:】新設校の通学区域全域
【特別調整通学区域:図中A】(受入校:美しが丘中学校)
美しが丘西一丁目及び元石川町のうち美しが丘西保木自治会
【特別調整通学区域:図中B+C】(受入校:すすき野中学校)
美しが丘西二丁目、美しが丘西三丁目のうち新設校の通学区域

案2 【山内中学校通学区域:図中A+B+C】新設校の通学区域全域
【特別調整通学区域:図中A】(受入校:美しが丘中学校)
美しが丘西一丁目及び元石川町のうち美しが丘西保木自治会
【特別調整通学区域:図中B】(受入校:美しが丘中学校、すすき野中学校)
美しが丘西二丁目
【特別調整通学区域:図中C】(受入校:すすき野中学校)
美しが丘西三丁目のうち新設校の通学区域

参考 新設校の通学区域の児童全員がすすき野中学校へ通学すると仮定すると、平成25年にすすき野中学校の教室が不足するため、案として採用できません。

委員会での主なご意見・ご質問等

☆ 新聞報道で学校選択制に関する記事がありましたが、そのような流れの中で、中学校の通学区域について今この場で検討を行った結果が、きちんと将来的にも担保されるのでしょうか。
→ 通学区域制度等に関する基本方針について見直しを検討することは決まっていますが、現時点では学校選択制についての検討をするかどうかということについて全く決まっていません。(事務局)

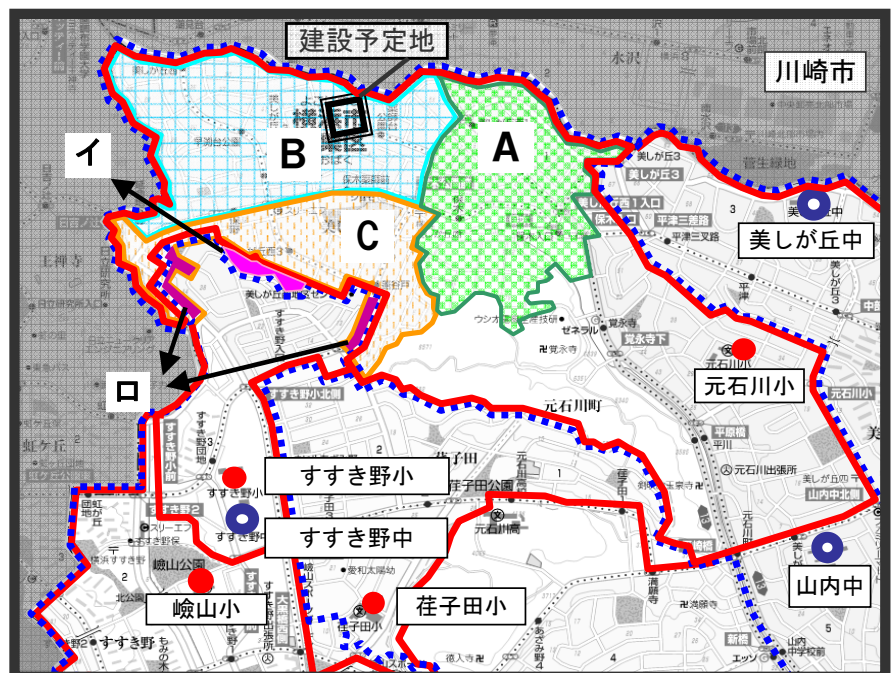
議論の結果、

地域からの意見を伺いながら、第4回の委員会で中学校の通学区域について検討することとなりました。

新設校周辺通学区域図

凡例(※地図中)

- A
- B
- C
- イ
- ロ
- 小学校学区線
- 中学校学区線
- 小学校
- 中学校



4 第2回開校準備委員会以降に寄せられたご意見・ご質問等について

～7名の方から6件のご意見・ご要望が寄せられました～

- ◇ すずき野小学校には放課後キッズクラブが設置されているため、働く保護者にとってとても助かっていると聞いています。私自身もフルタイムで仕事をしているため、放課後キッズクラブのような仕組みがある小学校に通うことを希望しています。新設校でも放課後キッズクラブを設置することを検討していただいているのであれば、情報提供をお願いしたいです。
→ 横浜市では、すべての小学校で学校施設を利用した放課後児童育成施策を実施しております。新設校においても、保護者や地域のニーズに対応する放課後児童育成施策を実施します。(こども青少年局)
- ◇ 現在、学童保育に預けたり、はまっ子を利用して共働きをしている家庭は少なくないと思います。学童保育については保護者が自主的に運営するものと認識しています。新設校は、現在の元石川小学校と同規模の学校となるようですので、その点も考慮した上で、はまっ子の運営や学童保育の設置についてご検討していただきたいと思います。
→ 横浜市では、すべての小学校で学校施設を利用した放課後児童育成施策を実施しております。新設校においても、保護者や地域のニーズに対応する放課後児童育成施策を実施します。
放課後児童クラブ(学童保育)は保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通しての健全な育成を行うために、地域の方々や児童の保護者等で構成される運営委員会や法人により設置、運営しており、運営費の一部を補助し自主的な運営を支援しています。(こども青少年局)
- ◇ 現在、指定地区外就学許可制度を利用してすずき野小学校に通学していますが、新設校開校後もすずき野小学校の方が近いので、引き続きすずき野小学校に通わせたいです。新設校が開校したら、強制的に新設校に通わなくてはならなくなるのでしょうか。すずき野小学校と新設校を選択できるようにして欲しいです。(この他に同様の意見が1件寄せられました。)
→ 第1回のニュースで回答したとおり、基本的には、新設校の通学区域の児童は全員新設校に通っていただくこととなります。但し、詳細については、新設校の通学区域が決定した後、第4回の開校準備委員会でお知らせします。(事務局)
- ◇ 横浜市の施策として、小中一貫校の施策が始まりつつありますが、もともと、教育に熱心な方々が通うこの地域で、私立中学に3割が流れている状況の 流れを変えるような公教育の充実したモデルケースとなるような学び舎を実現いただければと切望します。
現状では、中学校になれば、また、バス通学が必須のような状況だと思いますが、限られた予算、スペースを有効活用するべく、今回の第二方面校に中学校と同居させる等ご議論頂きたいです。
→ 現在のところ、この地域の各中学校につきましては、規模等については、分離・新設する基準に該当していないため、新設校の用地内に新たに中学校を分離・新設する予定はありません。今後、開校準備委員会で、小学校新設に伴う中学校の通学区域調整について検討します。また、新設校の教育内容については関係部署と調整しながら、開校までに検討を進めていきます。(事務局)
- ◇ 学区域案に該当する各家庭にアンケートなどで直接意見を聞いてみてください。
→ 各家庭へアンケートを実施する予定はありませんが、開校準備委員会では保護者の代表としてPTA代表に出席いただき、保護者の意見を集約しています。また、開校準備委員会ニュースを関係区域に配布し、常に意見を募集しております。(事務局)
- 下記の1件はご意見として承りました。
- ◇ 元石川小学校では、平成22年度をピークに、児童数が減少するようですが、新設校の必要はあるのでしょうか。新設校ができることにより、すずき野小の統廃合問題も出るということも気になります。
開校準備委員会の議論の中で、新設校への通学を拒む地域や家庭があることが伺えます。今一度多額の税金を使ってでも新設校が必要なのか良く議論をして欲しいです。現在の元石川小学校は、運動会等の行事に活気があり、保護者の活動も工夫とまとまりがある良い学校と感じています。
それにバス通学者についてですが、徒歩での通学よりも危険度が少ないので、一概にバス通学が悪いとは思いません。バス通学希望者への補助及びバスの本数を増やすことを是正できれば足りる話しではないでしょうか。小学校を建てるばかりが地域の発展ではありません。

5 開校準備委員会事務局からのお知らせ

新たに就任した委員の紹介

第3回の委員会から、新たに2名の委員に就任していただきました。(敬称略)

委員 松本 敦子(美しが丘中学校PTA会長)
委員 齋藤 輝文(美しが丘中学校校長)

当日の様子



横浜市教育委員会の基本方針、元石川小学校第二方面校開校準備委員会の検討内容等はホームページでもご覧いただけます。

[基本方針] http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku_houshin.pdf

[元石川小学校第二方面校開校準備委員会]

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/kadaikibo/index2.html>



元石川小学校第二方面校開校準備委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。下記事務局連絡先宛にご連絡ください。

[元石川小学校第二方面校開校準備委員会事務局]
横浜市教育委員会事務局 学校計画課

Eメール: ky-motoishidai2@city.yokohama.jp
TEL:045-671-3319 FAX:045-651-1417



【次回委員会】平成21年11月19日(木)午前10時～ 美しが丘西地区センターにて

発行:元石川小学校第二方面校開校準備委員会事務局